

○計画期間：平成28年4月～令和3年3月31日（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成30年度終了時点（平成31年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成28年4月以降、中心市街地活性化基本計画の「Re・Innovation 唐津～まちなか骨格軸の革新と歴史・文化のイノベーションによる、憧れの城下町・唐津～」というコンセプトのもと、「賑わいあふれる魅力ある商業の創出」、「訪れたい魅力ある観光の創出」の2つを活性化の目標に掲げ、43の事業を実施しているところである。

「賑わいあふれる魅力ある商業の創出」に関して、まちづくり会社であるいきいき唐津株式会社が滞在型集客施設を整備する新天町パティオ街区再開発事業について着工し、令和元年度のオープンを目指し、建設工事等の事業を進めている状況である。各種事業により空き店舗数の削減に努めているところであるが、営業不振以外にも後継者や従業員の不足による退店も起こっており、地域の商業を担う商店にとって依然厳しい経営環境であるといえる。

「訪れたい魅力ある観光の創出」については、平成29年度に主要事業である旧大島邸の復原と唐津城天守閣の改修が完了したことにより、平成30年度の観光施設の入り込み客数が増加している。特に、旧唐津銀行において肥前さが幕末維新博覧会が約10ヶ月にわたり開催されたことにより集客拠点として賑わいの創出につながった。

また、唐津港へのクルーズ船寄港に伴う外国人観光客の回遊や唐津がモデルとなった街が登場するアニメの放映をきっかけに各事業者や各商店街で観光消費を取り込むための取り組みや中町商店街にフリーWi-Fiが設置される等、中心市街地全体で受け入れ体制の整備が進められている。

今後も一層、市民や民間事業者との連携を深めることで中心市街地の賑わいと魅力の増大を図っていく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）	平成27年度 （計画前年度）	平成28年度 （1年目）	平成29年度 （2年目）	平成30年度 （3年目）	令和元年度 （4年目）	令和2年度 （5年目）
人口	8,005人	8,077人	8,029人	7,930人		
人口増減数	9人	72人	▲48人	▲99人		
自然増減数						
社会増減数				▲110人		
転入者数				238人		

2. 平成30年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画期間の3年目の取り組み状況としては主要事業が順調に事業完了しており、残す主要事業は「新天町パティオ街区再開発事業」のみとなった。「新天町パティオ街区再開発事業」については資材調達難に伴う工事の遅れがあり、今後の進捗管理について慎重を期す必要があるものの、長年の懸案事項であった空き店舗群の解消と新施設の建設開始に至ったことにより、その活用や効果の波及について各関係者の議論が活性化するよう図って行く。「空き店舗率」「来街者満足度」「中活エリアの観光客入り込み客数」の各指標については改善傾向にあり、計画の進捗は順調であると捉えている。今後とも活性化効果を最大化するために官民連携の中で支援を図りたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
賑わいあふれる魅力ある商業の創出	空き店舗率	22.77% (H26)	16.69% (R2)	20.48% (H30)	B	①	③
	来街者満足度	19.43% (H27)	32.53% (R2)	50.40% (H30)	A	①	③
訪れたい魅力ある観光の創出	中活エリア観光施設入り込み客数	314,130 人 (H26)	339,551 人 (R2)	344,504 人 (H30)	A	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

目標指標のうち、「空き店舗率」については、主要事業である空き店舗チャレンジ誘致事業で新規出店が増加したことや工事の遅れがあるものの、新天町パティオ街区再開発事業で空き店舗群が解体され、新しい商業施設が建設されているため、目標達成可能と見込む。

「来街者満足度」については、昨年度と比較して改善されている。新天町パティオ街区再開発事業の進捗が遅れているものの、周辺商店街等で独自の取り組みが満足度上昇につながっている。今後も各商工団体や各個店との連携を図ることで来街者満足度の目標達成可能と見込む。

「中活エリア観光施設入り込み客数」については、平成29年度で魅力ある観光の創出に関する主要事業はすべて完了しており、平成30年度の観光客入り込み客数も増加している。民間においても簡易宿泊所機能を持たせた新天町パティオ街区再開発事業をはじめ、フリーWi-Fiの設置や外国人観光客対応の強化等の取り組みが実施され、観光客を受け入れる体制が整いつつある。以上のことから令和2年度までに目標達成は可能であると見込む。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

指標のうち「空き店舗率」と「来街者満足度」に関連する新天町パティオ街区再開発事業について、平成31年4月末のオープン予定であったが、全国的な建築資材の供給不足により、ハイテンションボルトの納期遅延が発生した。そのため工事の進行が遅れ、令和元年度秋頃の施設オープンを見込んでいた。

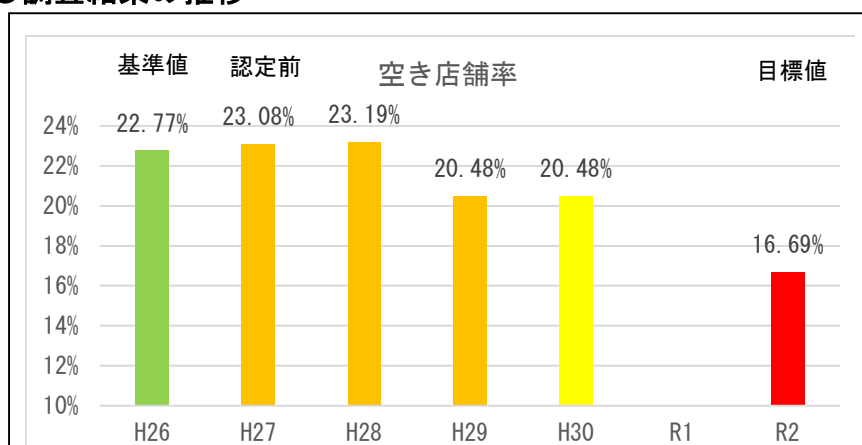
「空き店舗率」については改善が見られないものの、施設オープン時には12区画のテナント入居が予定され、空き店舗チャレンジ誘致事業による出店も継続的に行われており、目標達成可能と見込まれるため、今回の見通しを「③」とした。

「来街者満足度」については、施設オープンが遅れているものの、それ以外の各商店街や各個店の取り組みの効果が現れており、目標達成可能と見込まれるため、今回の見通しを「③」とした。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画P67～P69参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H26	22.77%
(基準年値)	
H28	23.19%
H29	20.48%
H30	20.48%
R1	
R2	16.69%
(目標値)	

※調査方法：目視による空き店舗確認

※調査月：平成30年10月

※調査主体：佐賀県

※調査対象：唐津中央商店街（協同組合呉服町商店街、協同組合京町商店街、中町商店街協同組合、刀町振興会）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）

事業実施時期	平成23年度～（実施中）
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年度は4つの出店者が本事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（大名小路1件、中町1件、高砂町1件、南城内1件）、空き店舗数の減少につながった。今後も事業を継続することで空き店舗率の改善が期待される。
事業の今後について	今後も店舗改装費の補助以外にも、出店後の経営を持続可能にするためのサポートを商工会議所・地元金融機関と協力しながら行っていく。

②. 新天町パティオ街区再開発事業（いきいき唐津株式会社）

事業実施期間	平成28年度～令和元年度（実施中） [認定基本計画：平成28年度～平成30年度]
事業概要	唐津中央商店街内の新天町パティオ街区に滞在型・交流施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣の認定（経済産業省）（平成28年度～平成30年度） [認定基本計画：平成29年度～平成30年度] ②地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち先導的・実証的事業（経済産業省）（平成30年度） ③中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（平成30年度） ④特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（平成30年度） ⑤地域文化資源活用空間創出事業費補助金（経済産業省）（平成28年度～平成30年度） [認定基本計画：平成29年度～平成30年度]
事業効果及び進捗状況	建設費の高騰により施設の構造を鉄筋コンクリート造から鉄骨造に変更。平成31年3月の竣工を目指し、平成30年6月から9月にかけて新天町パティオ街区の解体工事を経て、10月から滞在型・交流施設の建設工事が開始された。しかし、全国的な建築資材の不足により、鉄骨造に不可欠なハイテンションボルトの納入が延期になることが11月に判明、建設工事が中断してしまった。その後、平成31年4月に不足している建築資材を調達し、令和元年10月に施設のオープンを目指す計画に変更となった。その他の進捗として、施設の名称が一般公募により「KARAE（唐重）」と決定した。また、引き続き周辺の商業関係者を交えながら中心市街地の起爆剤としての効果を周辺に波及させていくための検討を実施主体であるいきいき唐津株式会社を中心に行っていく。
事業の今後について	令和元年10月の施設オープンに向けて、施設の建設工事、テナント誘致を行っていく。加えて、各商店街や各種事業者組合、地域づくりを担う団体等で構成される「KARAE利活用委員会」を組織し、商工団体、市民団体との協働によって中心市街地や唐津の観光の活性化に寄与する取り組みについて検討を行う。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

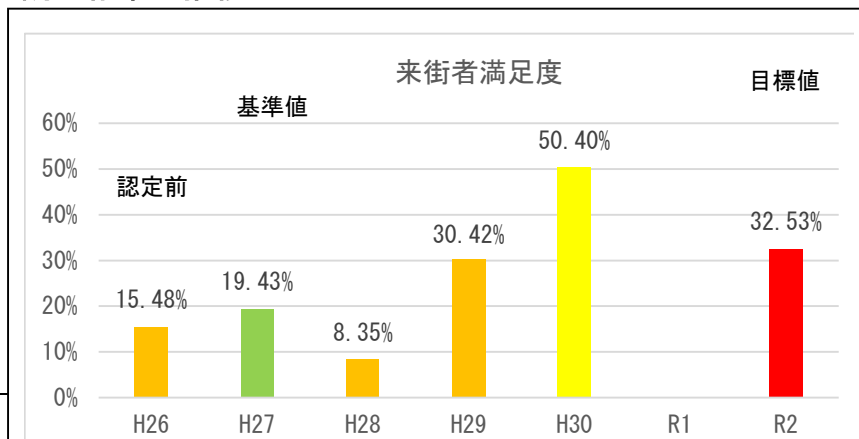
事業実施期間	平成27年度～平成29年度（完了） [認定基本計画：平成27年度～]
事業概要	呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成29年度に事業が完了し、対象の48店舗中29店舗が改修工事を終えた。また、同事業を行う際に呉服町商店街が策定した「呉服町商店街景観まちづくりガイドライン」を事業完了後も引き続き運用が行われており、上記の新天地パティオ街区再開発事業においても、同ガイドラインを満たすよう審査・調整が行われ、統一した景観が形成されつつある。
事業の今後について	本事業をきっかけとして、イベント誘致の可能性や外国人観光客の増加を各商店が実感しており、商店街における観光満足度向上と消費喚起の取り組みを行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

今年度においても空き店舗チャレンジ誘致事業により中心市街地に4つの新規事業者が空き店舗に出店している。また、新天地パティオ街区再開発事業が着手されたことにより、当該区域の空き店舗群が解体され、空き店舗の減少につながっている。しかし、後継者・従業員不在による退店・他市への移転等も同時に起きており、結果、空き店舗率は昨年と同様である。新天地パティオ街区再開発事業について建築資材の調達に困難になったため、施設オープン予定が当初計画より約半年遅れることとなったが、令和元年秋頃の新施設のオープンに際しては新たな飲食店等の出店等により空き店舗率の減少が見込まれている。引き続き中心市街地の新規出店を支援していくとともに、退店のために再び空き店舗が増加しないよう、創業者や既存の事業者が持続的に経営できる環境を作るため、創業・経営相談窓口の設置や商工会議所等の専門機関と連携を図りながら、やる気のある起業家や繁盛店作りを支援していく。

「来街者満足度」※目標設定の考え方基本計画P70～P79参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H27	19.43%
	(基準年値)
H28	8.35%
H29	30.42%
H30	50.40%
R1	

R2	32.53% (目標値)
----	-----------------

※調査方法：来街者に対する聞き取り調査
 ※調査月：平成31年1月
 ※調査主体：唐津市
 ※調査対象：中心市街地商店街への来街者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）【再掲】

事業実施期間	平成23年度～（実施中）
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年度は4つの出店者が本事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（大名小路1件、中町1件、高砂町1件、南城1件）、空き店舗数の減少につながった。また、出店後も商工会議所の経営相談等のサポートが行われている。空き店舗の改善に加え、今までにない業種の出店も行われており、多様なサービスの提供により、来街者の満足度の向上に寄与している。
事業の今後について	今後も店舗改装費の補助以外にも、出店後の経営を持続可能にするためのサポートを商工会議所・地元金融機関と協力しながら行っていく。

②. 新天町パティオ街区再開発事業（いきいき唐津株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成28年度～令和元年度（実施中） [認定基本計画：平成28年度～平成30年度]
事業概要	唐津中央商店街内の新天町パティオ街区に滞在型・交流施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	①特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣の認定（経済産業省）（平成28年度～平成30年度） [認定基本計画：平成29年度～平成30年度] ②地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち先導的・実証的事業（経済産業省）（平成30年度） ③中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（平成30年度） ④特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（平成30年度）

	⑤地域文化資源活用空間創出事業費補助金（経済産業省）（平成28年度～平成30年度） [認定基本計画：平成29年度～平成30年度]
事業効果及び進捗状況	建設費の高騰により施設の構造を鉄筋コンクリート造から鉄骨造に変更。平成31年3月の竣工を目指し、平成30年6月から9月にかけて新天町パティオ街区の解体工事を経て、10月から滞在型・交流施設の建設工事が開始された。しかし、全国的な建築資材の不足により、鉄骨造建築に不可欠なハイテンションボルトの納入が延期になることが11月に判明、建設工事が中断した。その後、平成31年4月に不足している建築資材を調達し、令和元年度10月に施設のオープンを目指す計画に変更となった。その他の進捗として、施設の名称が一般公募により「KARAE（唐重）」と決定した。今後は、オープンに向け最大限の努力を行うとともに、いきいき唐津株式会社を中心に周辺の商業関係者を交えながら中心市街地の起爆剤としての効果を周辺に波及させていくための検討を行う。
事業の今後について	令和元年10月の施設オープンに向けて、施設の建設工事、テナント誘致を行っていく。加えて、商店街や各種事業者組合、地域づくりを担う団体等で構成される「KARAE利活用委員会」を組織し、商工団体、市民団体との協働によって中心市街地や唐津の観光の活性化に寄与する取り組みについて検討を行う。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）【再掲】

事業実施期間	平成27年度～平成29年度（完了） [認定基本計画：平成27年度～]
事業概要	呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成29年度は5店舗がファサード改装を行った。27・28年度分（24店舗）を合わせると対象の48店舗中29店舗が工事を終えた。また、同事業を行う際に呉服町商店街が策定した「呉服町商店街景観ガイドライン」を事業完了後も引き続き運用を行っており、既存店舗の改修や、上記の新天町パティオ街区再開発事業においても、同ガイドラインを満たすよう審査・調整が行われ、統一した景観が形成されつつある。季節のイベントや唐津焼関連のイベントが催されるなど一定の賑わ

	いの創出につながっている。
事業の今後について	本事業をきっかけとして、商店街へのイベント誘致の可能性や外国人観光客の増加を各商店が実感しており、商店街における観光満足度向上と消費喚起の取り組みを行っていく。

④. 低床バス導入事業（昭和自動車株式会社）

事業実施期間	平成27年度～（実施中）
事業概要	車両に乗りにくいという意見が多いことを受け、交通弱者が気軽にバスを使って中心市街地へ足を運べるよう低床バスを導入するもの。
国の支援措置名及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国土交通省）（平成28年度～）
事業効果及び進捗状況	平成30年度において、昭和自動車株式会社が導入した低床バスは7台となった。
事業の今後について	引き続き、バリアフリー化を進め、ベビーカー利用者や高齢者の外出機会を増やすため、昭和自動車株式会社と連携をとりながら、低床バス導入を実施していく。

⑤. バスの乗り方教室の実施（昭和自動車株式会社）

事業実施期間	平成27年度～（実施中）
事業概要	バスの乗り方がわからないという若年層・高齢者にバスを身近に感じてもらうためバスの乗り方・マナー啓発を行うことによりバス利用者を増やす。
国の支援措置名及び支援期間	改正地域公共交通活性化再生法（国土交通省）（平成28年度～）
事業効果及び進捗状況	例年、各小学校に教室開催についての案内を行っているところであるが、平成30年度はバスの乗り方教室の要望がなかったため、実施できなかった。
事業の今後について	利用者がわかりやすく利用できる環境の整備を進めるため、引き続き、昭和自動車株式会社と地域と連携をとりながら、各小学校に教室開催の案内を行うとともに、各地域の老人会等に教室開催の案内を行うことを検討している。

⑥. 子育て支援拠点事業（唐津市）

事業実施期間	平成28年度（完了）
事業概要	地域の身近なところで気軽に親子の交流や子育て相談が受けられる場所を作り、子育てしやすい環境の充実を図る。
国の支援措置名及び支援期間	合併特例債（総務省）（平成28年度～令和2年度）

事業効果及び進捗状況	平成29年度4月から「唐津市子育て情報センター」を開設し、子育て家庭のニーズに合わせて、必要な支援を選択し利用できるように情報の提供や相談・支援を行っている。平成30年度は大手口センタービルの子育て支援情報センターにおいて28,226人の来場があった。
事業の今後について	運営主体であるNPO法人子育て支援情報センターと連携を図りながら、各種イベントや病後児保育のサポート等を行い、子育て親子の交流の場を提供し、保護者相互の交流や情報交換の促進を図っていく。

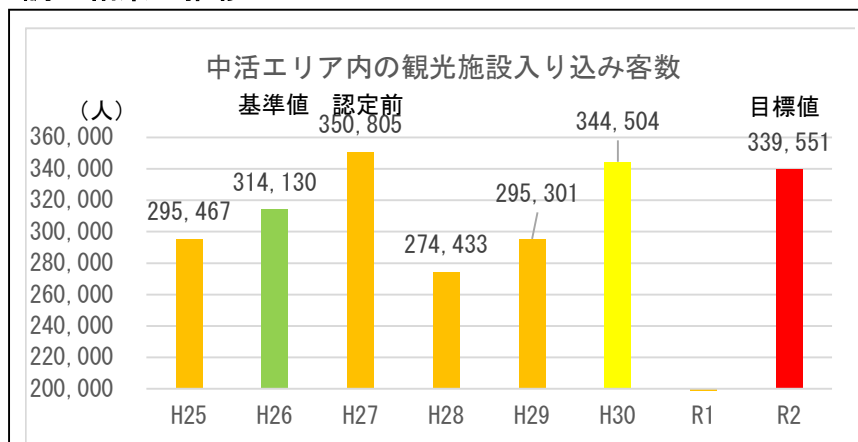
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成30年度の来街者満足度調査において、昨年度と比較して改善され、約半数の来街者が満足していると回答した。各商店街レベルではフリーWi-Fi設置とホームページの作成による情報発信や各個店の外国人観光客の受け入れ体制強化など各商店街独自の取り組みが行われている。また、新天町パティオ街区再開発事業をきっかけとして、利用度が高い商店街ユーザーにどのようなサービスが提供できるかの議論が行われている。

新天町パティオ街区再開発事業について建築資材の調達が困難になったため、施設オープン予定が当初計画より約半年遅れることとなったが、各商業関係者の取り組みが活発に行われており、目標は達成可能と判断する。今後も商業活性化に関する具体的な取り組み内容と役割を明確化した「唐津市中心市街地商業活性化アクションプラン」に基づき中心市街地活性化協議会等で新しい滞在型施設の活用や経済効果の波及を検討し、情報共有・連携を図りながら、来街者満足度の向上に取り組んでいく。

「中活エリア内の観光施設入り込み客数」※目標設定の考え方基本計画P79～P85参照

●調査結果の推移



年	(単位:人)
H26	314,130人 (基準年値)
H28	274,433人
H29	295,301人
H30	344,504人
R1	
R2	339,551人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内に立地する観光施設7施設の入場者数の合計

※調査月：平成30年4月1日～平成31年3月31日

※調査主体：唐津市

※調査対象：観光施設入場者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）【再掲】

事業実施期間	平成27年度～平成29年度（完了） [認定基本計画：平成27年度～]
事業概要	呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成29年度は5店舗がファサード改装を行った。27・28年度分（24店舗）を合わせると対象の48店舗中29店舗が工事を終えた。また、同事業を行う際に呉服町商店街が策定した「呉服町商店街景観ガイドライン」を事業完了後も引き続き運用を行っており、既存店舗の改修や、上記の新天町パティオ街区再開発事業においても、同ガイドラインを満たすよう審査・調整が行われ、統一した景観が形成されつつある。
事業の今後について	本事業をきっかけとして、商店街へのイベント誘致の可能性や外国人観光客の増加を各商店が実感しており、商店街における観光満足度向上と消費喚起の取り組みを行っていく。

②. 城内地区・曳山通り景観まちづくり事業（唐津市）

事業実施期間	平成28年度（完了）
事業概要	城内地区・曳山通りならではの佇まいを守り、つくり、育て、賑わいの創出につなぐため、景観まちづくり条例の改正を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成29年3月唐津市景観まちづくり条例を改正。平成29年8月に唐津市景観まちづくり推進事業補助金がスタートした。平成30年度においては中心市街地内の建物新築・改修等に伴い29件の届出があり、4件の補助金の交付を行った。
事業の今後について	景観まちづくり条例は順調に運用されており、今後も、城内・曳山通りにふさわしい景観形成を図るため、市民への周知を行っていく。

③. 旧大島邸復原整備（唐津市）

事業実施期間	平成25年度～平成28年度（完了）
事業概要	城内地区に残っていた旧大島邸を文化交流の結節点とすることを目的に、主屋、茶庭、茶室などを復原し、見学施設や貸館

	による活用を図り、中心市街地における市民や観光客の交流拠点を整備した。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（唐津市中心市街地地区））（国土交通省）（平成25年～平成28年度）
事業効果及び進捗状況	平成29年4月23日に開館し、平成31年3月31日までに10,123人の入場と50件を越える貸館による利用があった。貸館の利用としては、茶会や講演会、展示会のほか、食事会や集会などの利用を得た。
事業の今後について	今後散策ルートの設定やイベントの誘致等を行うことで、中心市街地の周遊性の向上と文化交流の結節点としてしての機能強化を図っていく。

④. 南城内駐車場整備事業（唐津市）

事業実施期間	平成28年度（完了）
事業概要	旧大島邸と一体的に整備を行い、旧大島邸利用者のみならず、城内観光の拠点とするべく整備を行った。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（唐津市中心市街地地区））（国土交通省）（平成28年度）
事業効果及び進捗状況	旧大島邸と同じく、平成29年4月23日にオープンし、平成30年3月31日までにのべ約3万4千台の利用があった。昨年度より約6千台増加しており、利便性の向上による城内来訪者の増加に繋がったものと思われる。
事業の今後について	整備によって休日の観光客のみならず、平日の通勤利用も増えている。周辺施設である旧大島邸や唐津市市民会館、曳山展示場の主要な駐車場のため施設の利用促進を図り、駐車場の利用増につなげていく。

⑤. 唐津城天守閣改修等事業（唐津市）

事業実施期間	平成25年度～平成29年度（完了）
事業概要	中心市街地のランドマークとなっている唐津城天守閣の維持及び観光客の入館の増加を図るために、天守閣の耐震補強及び空調設備の新設や資料の保存、活用を図るための展示ケース等の改修を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（唐津市中心市街地地区））（国土交通省）（平成26年～平成29年度）
事業効果及び進捗状況	平成29年7月にリニューアルオープンし唐津市の主要な観光施設となっている。平成30年3月末までに148,516人の観光客が来館した。
事業の今後について	唐津市の主要な観光施設としての機能を果たしている。今後、

いて

定期的な展示物の入れ替えを行い、展示説明についても英語対応などの充実を図っていき、来場者の満足度向上を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業である唐津城天守閣改修事業と旧大島邸復原事業が完了しており、観光施設利用者が増加していることから、目標を達成できる見込みと思われる。また、昨年引き続き、唐津市が舞台となったアニメに関する影響やクルーズ船の寄港等、中心市街地を回遊する観光客が増加する要因が続いている。

引き続き、港湾整備完了に伴うクルーズ船寄港の増加をチャンスと捉え、インバウンド消費獲得に向け、大小さまざまな仕掛けを模索し、いずれも一過性のものにならないよう、街なかの回遊性と魅力の向上を図り、さらなる来街者の増加につなげていく必要がある。